8-4-8 工 事

施工業者は工事実施前に主要設備地域の詳細実測図の作成、主要基礎杭の 施験打ち、荷重試験及びコンクリート試験などを行ない施工の精度、工程 の円滑化を計るようにする。

1) 土木工事

a. 発電所設備

- a) 工事用進入仮設道路を国道 6 6 号線より発電所敷地迄建設する。
- b) 作業員宿舎、建設事務所の建設と共にパッチャプラント、工事用 発電設備、工事用水用海水淡水化装置、配水タンク、配管を設置する。
- c) 敷地造成用の土砂を連絡通路、循環水の取放水口、仮埠頭用道路 に使用する。

敷地造成は発電所本館、貯炭場、タンク・ヤードの順に行う。

d) 循環水の設備工事は取放水口の海側を鋼矢板で仮締切りを行ない、 開水路を建設する。

> 取水ポンプピット工事も同様に鋼矢板で仮締切りを行って工事を 行ない、送水パイプは発電所側より、放水路は発電所側と海側より 同時に工事を進める。

- e) ついで燃料タンク基礎、防油堤工事を行う。
- f) 運炭設備及び貯炭場の工事は最後に行う。
- g) 仄捨場護岸、港湾設備は循環水設備工事と同時期に着手する。
- h) 照明基礎、灰流管、ケーブルトレンチ、送油管基礎、中和槽、各種タンク、造水プラント基礎等は発電所敷地造成後行う。
- i) 道路、緑地、又は砂利敷は建築工事及び各種構造物の工事が完了したあと行う。

b. 港湾 設備

a) 石炭荷揚岸壁

大型杭打船により9000×161の鋼管を竪固な支持地盤層まで打込む。打込み終了後、支保工、足場を設け上部床版を施工する。コ

ンクリートはプロックヤードのパッチャープラントより材料船で海上 運搬する。杭間はガット船で捨石を行い潜水夫にて勾配1:3に仕上 げる。

b) 揭油岸壁·小型船岸壁

プリストマン式浚渫船により入念に床場施工後、ガット船で捨石を 投入、潜水夫により均しを行いプロックヤードで製作されたプロック を材料船にて運搬し、潜水夫にて据付を行う。前面は被覆石で堅固に被 覆する。上部床はパッチャープラントよりコンクリートを材料船で運 搬施工する。

c) 浚渫工事

浚渫工事は最初海上管架を行った後、5,000~8,000PSのポンプ 式浚渫船で土量、3,900,000㎡ (泊地 2,700,000 , 航路 1,200,000) を施行する。この際ポンプ船の作業泊地を造成後、まず石炭荷揚岸壁 の杭打ちの関係で同岸壁の前面を浚渫し、航路、泊地の順序で施工す る。

d) 連絡通路

建設費を安くする為に発電所よりパース間の突堤(頂部は燃料運搬及び連絡通路)の基盤はEL+1m 迄良質の浚渫土を利用し、その上

を陸上掘削土で埋立て石積護岸パラペットを施工し最後に舗装を行う。 浚渫土量と基盤造成土量は略数量的にパランスしている。

・(・)、真ののは他できませたかんとの「Back years

浚渫完了後航路標識、泊地浮標、導灯を設置する。

2) 建築工事

- a. 土木による本館敷地造成後、発電所本館基礎工事、鉄骨建方、コンクリート工事、内装工事、途装工事の順で行う。
- b. 付属建家及び機械基礎は発電所本館の工事と併行或いは別途に、工事工 程に合せて施工する。

3) 機械工事

- a. 本館編体工事後ターピン関係、一部ポイラ関係の機器の搬入、据付、組立を行う。
- b. 屋外基礎工事完了後ポイラ鉄骨の建方及び各種機器の搬入・据付を行う。
- c. ボイラ木体はドラム揚げを最初に行ない、順次上部構造物より下部へ組立を行ない、主要構造物完了後付属機器、各種ダクト配質を行う。
- d. 揚運炭機器は土木、建築による基礎工事完了後各機器の撤入・組立を行う。
- c. 付属装置、各種タンクは基礎工事完了後搬入・組立を行う。

4) 電気制御工事。

- a. 土木、建築工事の進捗に従い、ケーブルの布設工事を行う。
- b. 各機械・機器の据付完了に伴いケーブルの接続を行う。
- c. 開閉所は基礎工事完了後、鉄骨組立、機器の据付、組立を行う。変電所 工事も同じである。
- d. 組立完了後架線工事を行い、以後各種テストを行う。

5) 送電線工事

- a. 基礎工事完了後、鉄塔の組立を行う。
- b. 鉄塔組立完了後、架線を設置し各種テストを行う。

6) 試運転前の準備

- a、 電気配線、計測器の設置、各種警報、インタロックテストを完了させる。
- b. 変圧器、発電機、高圧電動機、開閉装置電力ケーブル等は据付完了後、 夫々の階級に従って絶縁抵抗測定、並びに絶縁耐力試験を行ない、所内受 電を行う。
- c. 耐圧テストが完了すれば夫々の補機の単体試運転を行ない、機器の最終 調整を行う。
- d. 各機械の組立完了後、各機械系統毎に漏洩・水圧テストを行い、次いで

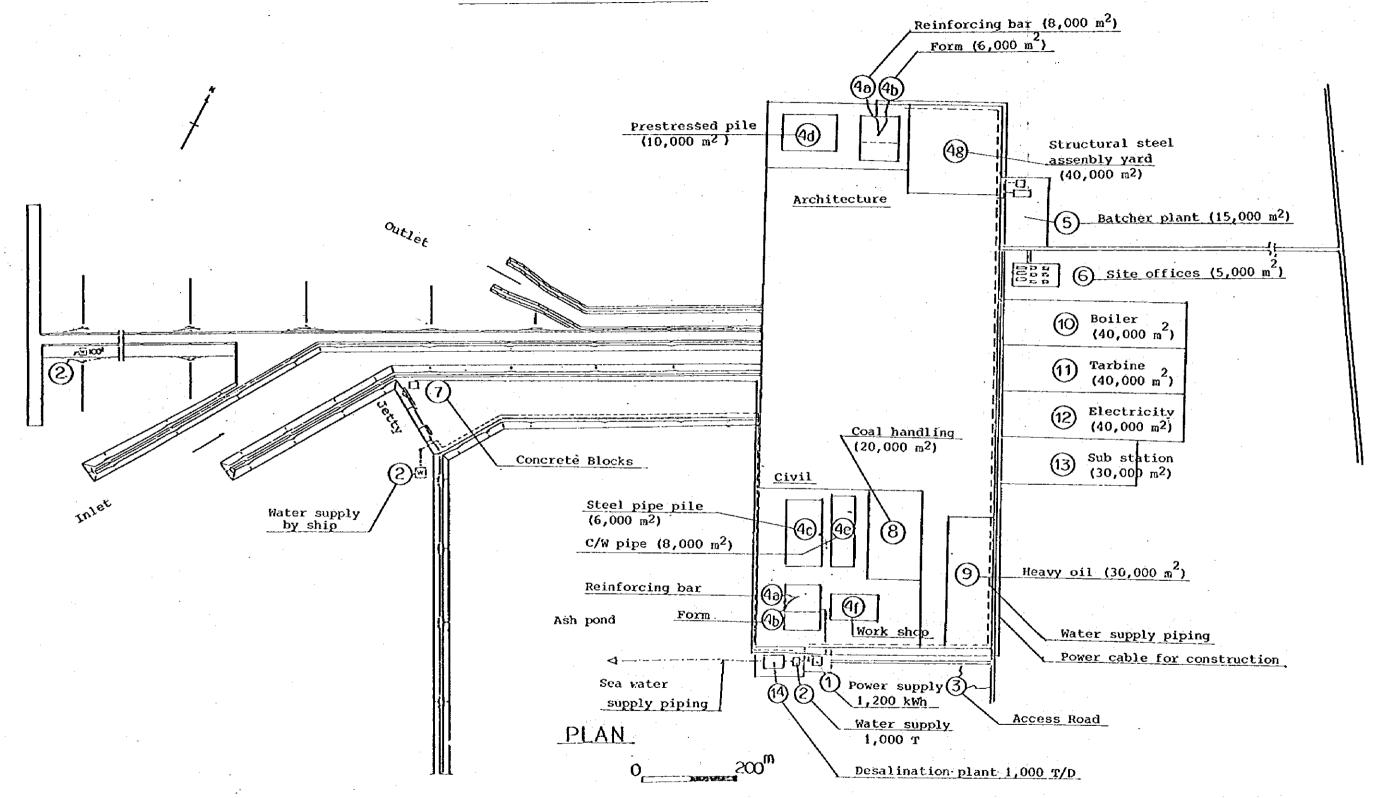
配管系統の水によるフラッシングを行うと共に必要個所の保温、塗装を順 次実施する。

- e. ターピン、発電機はオイル・フラッシングを行うが、発電機関係は水素 の漏洩テストも行う。
- (. ボイラは火入れを行い、ボイリングアウト、酸洗いを実施しタービン試 運転に先だって蒸気管系統のフラッシングを行う。
- g. ポイラ昇圧が可能になれば各種安全弁の動作試験を行う。

7) 総合試運転

ポイラ昇圧、シリカパーシ、ターピン試運転を行ない、振動その他異状が ない事を確かめ、ついで総合試運転を行う。

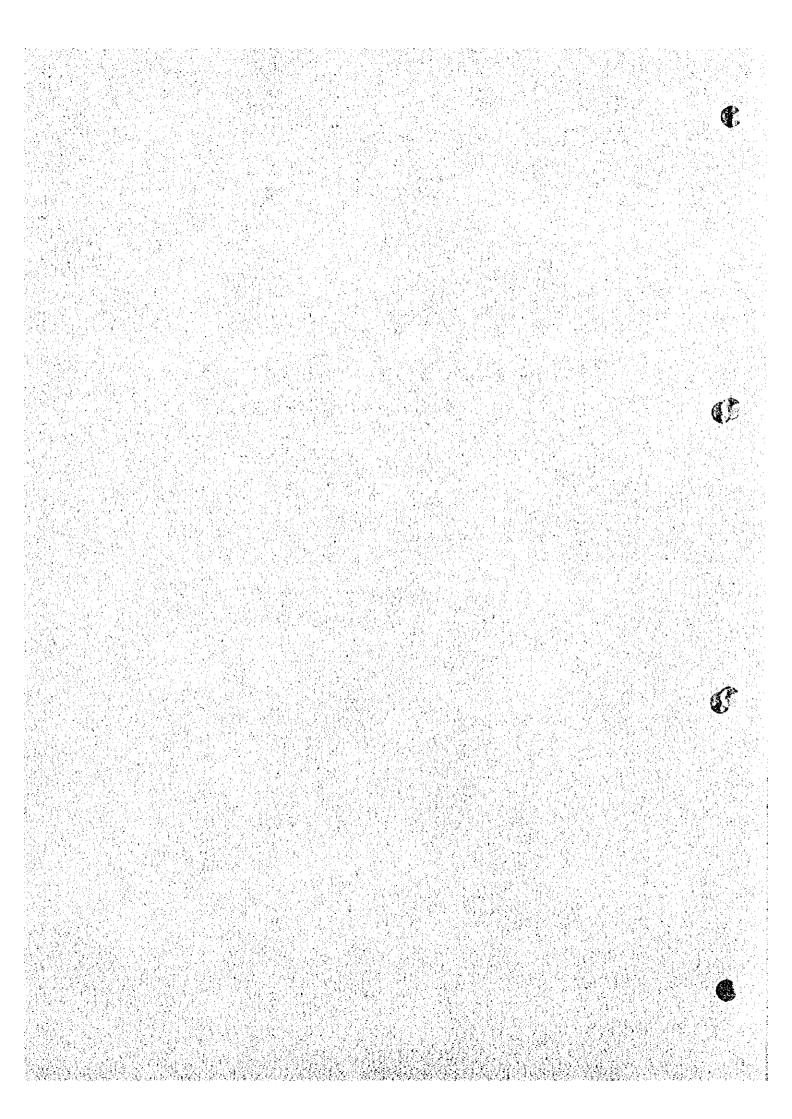
図8-2 仮設備配置計画



第 9 章

資 金 調 達 計 画

(1st Stage 300MW×2Units)



第9章 資金調達計画

9-1 資金調達計画

本石炭火力発電計画は1988年8月までに1号機、1989年1月までに2号 機の運開が必要とされている。

資金額としては、まずエジプト政府資金あるいはプライベート資金、外国政府間資金、サプライヤーズクレジット資金、等が考えられるが、プロジェクトの緊急性に鑑み、手続期間、金利、值還条件等の諸条件を十分に検討し、有利でかつ工事工程をみたす最適な資金額を早急に検討しなければならない。

1) 本プロジェクトの所要資金については、資産の回収期間が極めて長期に亘るため、所要外貨内貨ともに長期低利の資金を借入れ運用する必要がある。従って外貨の借入は国対国の借款及び国際金融機関から行うことを前提とし、内貨に関してはエジプト国内の政府関係機関が利用する金融機関から賄われることを前提とした。

又、本プロジェクトは大規模であるため、借入は建設工事工程に合わせて3 段階に分けて考えた。

2) 借入条件

a. 外 貨

外貨のうち80%分を年率4%の金利、5年間の据置きを含む30年間返済とし、20%分を年率9%の金利、5年間の据置きを含む15年返済とした。

この資金計画策定に当って工事期間中は元本及び建設中の利子を据置き (5年間据置き)、工事完了後元本、金利(元本に対する金利と建設中に発 4十る金利に対する金利を含む)を毎年均等に支払うこととした。

b.内 貨

金利は年率8%と仮定し、3年間の据置きを含む15年間返済とした。 工事期間中3年間は、元本及び建設中の利子の支払を据置くものとし、そ の後12年間において元本、金利(元本に対する金利と建設中に発生する金 利に対する金利を含む)を毎年均等に支払うこととした。 注 外貨分の資金は低利融資分を80%、高利融資分を20%それぞれ調達するものとする。

<u> </u>	利(%)	返済期間
低利融資(80%)	4.0	30年(含5年据置)
高利融資(20%)	9. 0	15年(含5年据置)

9-2 財務分析

9-2-1 分析方法

シナイ石炭火力発電計画の財務分析は、当該発電計画の総費用を発電所の 運転によってもたらされる売電収益と対比することによって行なわれる。 具体的な分析手順は次の通りである。

- 1) 現在価値換算されたシナイ石炭火力発電計画の総費用と総売電収益が等しくなるような等価割引率(所謂、財務的内部収益率)を算出し、次に、 この等価割引率をEEAの目標等価割引率(12%)と比較することによって、その財務的妥当性を評価する。
 - 2) 建設費の予想調達条件の下に、以下の分析を行う。

返済計画の作成 損益計算書の作成 資金の流れの分析

9-2-2 前提条件

1) 電力料金

エジプトでは、現在、電気は極めて安い価格で需要家に売られている。 このため、電力料金の値上げが計画されている。 EEA によれば、現行料金 の平均売電単価は1983/84年には15.666 mill. / kWh, 1986/87年 には26.709 mill. / kWh, そして上昇率を8%として1987/88年には 28.85 mill. / kWh, 1988/89年には31.15 mill. / kWh,そして1989 /90年には33.64 mill. / kWh に引上げられるものと予想される。

新料金案は未だ政府の認可を得ていないが、Sinai 火力発電所の運開時 点までには施行されるものと予想される。

従って、以下の財務分析には、本計画の売電収入を算定するに当って、この改訂料金条を適用するものとする。

2) 物価上昇

発電所の運転開始後、電気料金も運転維持費も、いずれも一般物価の上昇 に伴って上昇することはいうまでもない。しかしながら物価上昇の影響は収 益面にも支出面にも等しく作用するものと考え、本財務分析では発電所運開 後の物価上昇は考慮しないものとする。

3) 石炭価格

改定電気料金案も、これまでと同じように、重油価格としては補助金ベースの価格(7.5 LE/ton)を適用するものとして策定する。

従って シナイ 火力発電所の石炭価格についても補助金ペースの価格が適用 されるべきである。

ての場合、Kcal 当りの価格が補助金ベースの重油価格と等しくなるような以下の価格を石炭価格の上限値と考える。

7.5 LE
$$\times \frac{6.500 \, \text{Kcal/kg}}{10.000 \, \text{Kcal/kg}} = 4.9 \, \text{LE/ton}$$

本財務分析では、保守主義の立場から上限値としての 4.9 LE/tonの石炭 価格を適用する。

石油省は、EEAが石炭を使用することにより石油輸出の増加が可能となり、年間約71.1百万LEを節約するであろう。

一方EEAは重油火力発電所の代りに石炭火力発電所を建設することにより生ずる、資本費と保守維持費の増加に対処する必要がある。

それゆえにEEAは保守維持費および減価債却費の増額補債を提案している。

4) 電力収入の発電部門への配分率

電気料金は、発電費、送変電費、配電費、一般管理費、財務費用(支払利息)等の原価要素をカバーするように設定する。

エジプトの場合には、電力の総供給原価に占める発電費、送変電費、配電

費の割合は概算で以下の通りである。

発	電	70%
送	変電	15%
配	電	15%
合	計	100%

注)共通経費(一般管理費、財務費用等)は、発電、送変電、配電のそれ ぞれの設備取得価額(固定資産価額)の比によって按分する。

5) 平均壳電单価

現在申請中の電気料金における平均売電単価は次の通りである。

1987/88	28846	millimes/kWh
1988/89	3 1.1 5 4	millimes/kWh
1989/90	3 3 6 4 6	millimes/kWh

6) 営業収益(売電収益)

売電々力量は300 MW(送電端)2基で3,700,224 MWh であり、各年毎の売買収益は次表に示される。

4	Remark	.Utilization factor for Generation ; 80%	.Utilization factor for Generation ; 80% .Transmission and Distribution loss ; 12%				
爼	2018	2,342 5,875 8,217	703 1,762 2,465	619 1,550 2,169	23.55	14.577 36.503 51.080	
森及び収	1989	7,008	4,205	3,700	23.55	87.135 2,526.915	
沿馬島七	1988	4,665 1,133 5,798	1,400	1,232 299 1,531	21.81	26.870 6.521 33.391	
級	Capacity	No.1 320MW No.2 320MW 640MW	No.1 300MW No.2 300MW 600MW	No.1 300MW No.2 300MW Subtotal	1	No.1 300MW No.2 300MW 600MW	
		Annual Operating Hour Total	Annual Sending End Energy at P/S Tr. End (Gwh) Total	Annual Salable Energy at Consumer End (GWh)	Sales Rate (Mill./KWh) (Generation Portion)	Annual Revenue (Million L.E) Total	
		вискай	Available		услепие		

1

(

C.

7) 費 用

Grand Total

建設費

建設費および建設中利子は表9-2に示す通りである。

表 9 - 2 建設費及び建設中利子

(Unit: x 10⁶ LE) 1988 1987 1989 Total 1985 1986 1984 Fiscal Year Commissioning Construction Period Schedule No.1 No.2 Grace Period for FC Commencement of Repayment for F.C Commencement of Grace period for L.C Repayment for L.C Construction Cost 58.7 435.4 183.9 13.2 4.0 54.0 121.6 FC 29.5 15.9 1.2 75.0 LC 1.2 8.2 19.0 14.4 510.4 62.2 140.6 213.4 74.6 Tota1 *Interest During Construction 54.1 54.1 FC 3.2 3.2 LC 3.2 54.1 57.3 Total Total 58.7 67.3 489.5 4.0 54.0 121.6 183.9 FC8.2 19.0 32.7 15.9 1.2 78.2 1.2 LC 62.2 74.6 68.5

140.6

216.6

567.7

^{*} 建設中利子は建設期間中の複利合計金額である。

- b. 運転維持費および一般管理費
 - 運転維持費は建設工事費の2%を見込むものとする。従って年間の運転維持費は次の通りとなる。

 $LE 5 1 0.4 \times 10^{6} \times 0.02 = LE 1 0.2 \times 10^{6}$

一般管理費は建設工事費の0.5%を見込むものとする。従って年間の 一般管理費は次の通りとなる。

L B 5 1 0.4 \times 1 0 6 \times 0.0 0 5 = 1. E 2 6 \times 1 0 6

c. 燃料費

本発電所の年間計画発電々力量は 4,4 8 5,1 2 0 MVh である。従って、年間の燃料費は次の通りとなる。(頁 9-4 参照)

=
$$L E 7.5 \times 10^6$$
 (1.6 6 mill/kWh)

d. 减価值却費

減価償却費は設備資産の残存価格を無しとし、設備の耐用年数は30年間として計算する。従って年間の減価償却費は次の通りとなる。

9-3 財務分析の結果

9-3-1 等価割引率(財務的内部収益率)

表 9 - 3 に示すように、等価割引率 (FIRR)は11.29% と算出される。

9-3-2 資金収支分析

育金調達および返済計画
 内・外貨調達資金の返済計画は表 9-4 に示す通りである。

2) 損益計算

営業収益(売電収益)、営業費用(運転維持費、一般管理費、減価償却費)および財務費用(支払利息)は表 9-5 に 示す通りである。

3) 資金収支分析

表 9--6 に、資金の人(純利益、調達工事費、減価償却費)と資金の出 (工事費支出、元本返済)および各年次の収支が示されている。

資金の収支は本計画の運開初年度から黒字となり、全耐用年数期間に累積される内部留保は1,099百万LE に 達する。

4) 結 論

シナイ石炭火力発電計画は以下の事項から見て財務時にフィージブルで あると結論される。

- a) 等価割引率 (11.29%) がEEAの目標とする等価割引率 (12%) に近いてと。
- b) 資金収支が発電所の運開初年度から黒字となること。

. Discount rate

11%

1.0240

0.9399

. Revenue/cost

.'. Revenue/cost = 1.00 ; Discount rate = 11.29%

₹9-3 等価割引率 (FIRR)

(EDR =11.29 (%))

(UNIT : x 10^3 L.E.)

1.00								<pre><< PRESENT</pre>	WORTH >>		
No. of	Fiscal Year	Project Cost	Operating Expenses Total	Operating Revenue	Balance	Disc.Rate	Va	lue	Disc.Rate	Va	lue
Year	Tear	Cost	(Excl.Depre.Cost)			11.0(%)	Investment	Benefit	12.0(%)	Investment	Benefit
		(A)	(B)	(C)	(D)=C-(A+B)	(E)	(F)=A*E	(G)=(C-8)*É	(E)'	(F)'=A*E'	(G)=(C-B)*E'
0	1984	5,200	0	0	-5,200	1.000000	5,200	Ō	1.000000	5,200	0
1	1985	62,200	0	0	-62,200	0.900901	56,036	0	0.892857 0.797194	55,536 112,085	U
2	1986	140,600	0	0	-140,600	0.811622	114,114	0	0.711781	151,894	Ů
3	1987	213,400	0 000	22.201	-213,400 -49,599	0.731191 0.658731	156,036 49,141	16,469	0.635518		15,889
4	1988	74,600	8,390	33,391 87,135	52,435	0.593451	8,546	39,663	0.567427	8,171	37,924
) >	1989	14,400	20,300	87,135	66,835	0.534641	0,540	35,733	0.506632		33,861
0	1990 1991	0	20,300 20,300	87,135	66,835	0.481658	ŏ	32,192	0.452350		30,233
8	1992	ň	20,300	87,135	66,835	0.433926	0	29,001	0.403884		26,994
Š	1993	ň	20,300	87,135	66,835	0.390924	0	26,127	0.360611	0	24,101
10	1994		20,300	87,135	66,835	0.352184	0	23,538	0.321974	0	21,519
11	1995	ŏΙ	20,300	87,135	66,835	0.317283	0	21,206	0.287477		19,213
12	1996	o	20,300	87,135	66,835	0.285841	0	19,104	0.256676		17,155
13	1997	0	20,300	87,135	66,835	0.257514	0	17,211	0.229175		15,317
14	1998	0	20,300	87,135	66,835	0.231995	0	15,505	0.204620	0	13,676
15	1999	0	20,300	87,135	66,835	0.209004	0	13,969	0.182697	0	12,211
16	2000	0	20,300	87,135	66,835	0.188292	U 0	12,584	0.163122		10,902 9,734
17	2001	0	20,300	87,135	66,835	0.169632	0	11,337 10,214	0.145645 0.130040		8,691
. 18	2002	0	20,300	87,135	66,835	0.152822	U O	9,202	0.116107		7,760
19	2003	0	20,300	87,135	66,835	0.137677 0.124034	ő	8,290	0.103667		6,929
20	2004	ļ Ņ	20,300	87,135	66,835	0.111742) o	7,468	0.092560		6,186
21	2005) V	20,300	87,135	66,835 66,835	0.100669	ň	6,728	0.082643	Ŏ	5,523
22	2006		20,300 20,300	87,135 87,135	66,835	0.090692	ň	6,061	0.073788	0	4,932
23 24	2007 2008	V	20,300	87,135	66,835	0.081705	ň	5,461	0.065882	0	4,403
25	2009		20,300	87,135	66,835	0.073608	Ŏ	4,920	0.058824	0	3,931
26	2010	ő	20,300	87,135	66,835	0.066313	Ō	4,432	0.052521		3,510
27	2011	ň	20,300	87,135		0.059742	0	3,993	0.046894		3,134
28	2012	ŏl	20,300	87,135		0.053821	0	3,597	0.041869		2,798
29	2013	o l	20,300	87,135	66,835	0.048488	0	3,241	0.037383		2,499
30	2014	0	20,300	87,135	66,835	0.043683	0	2,920	0.033378		2,231
31	2015	0	20,300	87,135	66,835	0.039354	0	2,630	0.029802		1,992
32	2016	0	20,300	87,135	66,835	0.035454;	0	2,370	0.026609		1,778
33	2017	0	20,300	87,135	66,835	0.031940	0	2,135	0.023758		1,588 831
34	2018	0	11,920	51,080	39,160	0.028775	0	1,127	0.021212	0	
T	OTAL	510,400	609,010	2,611,386	1,491,976		389,073	398,428		380,296	357,445
٠.		e e					9,3	354	Aprillage-announcement remarks are remarked about the communication of t	-22,8	351

								表 9 - 4	返道	済 計 健	i 表						:		172
																•			
				0														:	
	TI					<u> </u>								Popaumont	Schodul e				
		Fund	Requireme	nt									Repayment Schedule						
	Fiscal				Fore	ign Currer	ncy 1 (4.	0%)	Fore	ign Currer	icy 2 (9.	08)	Fo	reign Cur	rency Tota	11		cal Curre	ncy (or
or Year	Year	Foreign Currency	Local Currency	Total	Principal	Interest	Total	Outstanding Balance	Principal	Interest	Total	Outstanding Balance	Principal	Interest	Total	Outstanding Balance	Principal	Interest	Total
0	1984	4.00	1.20	5,20	0.00	(0.69)	(0.69)	0.00	0,00	(0.43)	(0.43)	0,00	0.00	(1,12)	(1,12)	0.00	0,00	(0.31)	(0.0
1	1985	54.00	8,20	62.20	0,00	(7.34)	(7.34)	0,00	0.00		(4.45)	0,00	0,00	(11.78)	(11.78)	0.00	0.00	(1.36)	(1.
2	1986	121.60	19.00	140.60	0,00	(12.15)	(12.15)	0.00	0.00			0.00	0,00	(19,32)	(19.32)	0.00	0,00	(1.52)	(1.4
3	1987	183.90	29.50	213.40	0.00	(12.00)	(12,00)	0,00	0.00	1	(6,92)	0.00	0.00	(18.92)	(18.92)	0.00	4.12	6.26	10
4	1988	58.70	15.90	74.60	0.00	(1.88)	(1.88)	382.38	0.00	(1,06)	(1.06)	107,11	0.00	(2.93)	(2.93)	489.49	4.45	5.93	10
5	1989	13.20	1.20	14.40	9.18	15.30	24.48	373.20	7.05	9.64	16,69	100.06	16.23	24.94	41.17	473.26	4.81	5.57	10
6	1990	0.00	0.00	0.00	9.55	14.93	24.48	363.65	7.68	9.01	16.69	92.37	17.23	23.94	41.17	456,02	5.19	5.19	10
7	1991	0.00	0.00	0.00	9.93	14.55	24.48	353.72	8.38	8.31	16.69	84.00	18.31	22.86	41.17	437.72	5.61	4,77	10
8	1992	0.00	0.00	0.00	10.33	14.15	24.48	343,39	9,13	7.56	16.69	74.87	19.46	21.71	41.17	418.26	6.05	4.33	10
9	1993	0.00	0.00	0.00	10.74	13.74	24.48	332,65	9.95	6.74	16,69	64.92	20.69	20.48	41.17	397.57	6.54	3.84	10
10	1994	0.00	0.00	0.00	11.17	13.31	24.48	321.48	10.85	5.84	16.69	54.07	22.02	19.15	41.17	375.55	7.06	3,32	10
11	1995	0.00	0.00	0.00	11.62	12.86	24.48	309.86	11.82	4.87	16.69	42.25	23.44	17.73	41.17	352.11	7.63	2.75	10
12	1996	0.00	0.00	0.00	12.08	12.40	24.48	297.78	12.89	3,80	16.69	29.36	24.97	16.20	41.17	327.14	8,24	2.14	10
13	1997	0.00	0.00	0.00	12.57	11.91	24.48	285.21	14.05	2.64	16.69	15.31	26.62	14.55	41.17	300.52	8.90	1.48	10
14	1998	0.00	0.00	0.00	13.07	11.41	24.48	272,14	15.31	1.38	16.69	0.00	28.38	12.79	41.17	272.14	9.60	0.78	10
15	1999	0.00	0.00	Q.Q0	13.59	10.89	24.48	258.55	0.00	0.00	0.00	0.00	13.59	10.89	24.48	258.55	0.00	0.00	10 10 0 0 0 0 0
16	2000	0.00	0.00	0.00	14.13	10.35	24.48	244.42	0.00	0.00	0.00	0.00	14.13	10.35	24.48	244.42	0.00	0.00	0
17	2001	0.00	0.00	0.00	14.70	9.78	24.48	229.72	0.00	0.00	0,00	0.00	14.70	9.78	24.48	229.72	0.00	0.00	0
18	2002	0.00	0,00	0.00		9.19	24.48	214.43	0.00	0.00	0.00	0.00	15.29	9.19	24.48	214.43	0.00	0.00	0
19	2003	0.00	0.00	0.00	15.90	8.58	24.48	198.53	0.00	0.00	0.00	0.00	15.90	8.58	24.48	198.53	0.00	0.00	0
20	2004	0.00	0.00	0.00		7.94	24.48	181.99	0,00	0.00	0.00	0.00	16.54	7.94	24.48	181.99	0.00	0.00	0
21	2005	0.00	0.00	0.00	17.20	7.28	24.48	164.80	0.00	0.00	0.00	0.00	17.20	7.28	24,48	164.80	0.00	0.00	0
22		0.00	0.00	0.00	17.89	6.59	24.48	146.91	0.00	0.00	0.00	0.00	17,89	6,59	24.48	146.91	0.00	0.00	
23	1	0.00	0.00	0.00		5.88	24,48	128.31	0.00	0.00	0.00	0.00	18,60	5.88	24.48	128.31	0.00	0.00	0
24	1	0.00	0.00	0.00	19.34	5.14	24.48	108.97	0.00	 	0.00	0.00	19.34	5,14	24.48	108.97	0.00	0.00	oţ
25	· I —	0.00	0.00	0.00		4.36	24.48	88.85	0.00		0.00	0.00	20.12	4.36	24.48		0.00	0.00	0 0 0 0
26	2010	0.00	0.00	0.00	20.52	3.56	24.48	67.92	0.00	0.00	0.00	0.00	20.92	3.56	24.48		0.00	0.00	
27	2011	0.00	 	0,00	======	2.72	24.48	46.16	0.00		0,00	0,00	21.76	2.72	24.48	 	0.00	0.00	0.8
28	2012	0.00		0.00		1.85			0.00	0.00	0.00	0.00	22.63	1.85	24.48	23.53	0.00	0.00	0.3
29	-	0.00		0.00	23.03	0.95			0.00		0.00	0.00	23.53	0.95	24.48	0.00	0.00	0.00	0.
30	2014	0.00		0.00		0.00		I	0.00		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0, 0, 0, 0,
31	2015	0.00		0.00		0.00			0.00		0.00	0.00	0.00	0.00	0,00		·	0.00	
32	2016	0.00		0.00					0.00		0,00	0.00	0.00	0.00	0.00		1	0.00	0.
33		0.00		0.00					0.00		0.00	0.00	0.00		0.00		·	0.00	0.
34	1	0.00		510.40					0.00		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00			0.00	0.
T	otal	435.40	75.00	510.40	382.38	229.62	612.00	****	107.11	59.79	166.90		489.49	289.41	778.90		78,20	46.36	124.

表9-4 返済計画表

(UNIT: Million L.E.)

<u> </u>			 					·	Darstmont	Cohodulo							(01111	MILLION	2
Fore	eign Curre	ncy 1 (4	,0%)	Fore	ign Curren	cy 2 (9.	.08)	F	Repayment oreign Curi		a1	L	ocal Curre	ency (8.0	%)		Tot	al	
Principal	r		hutetandine		Interest	Total	butetanding	Principal	Interest	Total	Outstanding Balance	Principal	Interest	Total	Outstanding Balance	Principal	Interest	Total	Outstanding Balance
0.00	(0.69)	(0.69)	 	0.00	(0.43)	(0.43)	0,00	0.00	(1.12)	(1.12	0.00	0,00	(0.31)	(0.31)	0.00	0.00	(1.43)	(1.43)	0.00
0.00	(7.34)	(7.34)	0.00	0.00	(4.45)	(4,45)	0.00	0.00	(11,78)	(11.78	0.00	0.00	(1.36)	(1.36	0.00	0,00	(13.14)	(13.14)	0.00
0,00	(12,15)	(12,15)	0.00	0.00	(7.18)	(7.18)	0.00	0.00	(19.32)	(19.32	0.00	0.00	(1.52)	(1.52	78.26	0.00	(20.84)	(20.84)	567.69
0.00	(12.00)	(12.00)	0.00	0.00	(6,92)	(6.92)	0.00	0.00	(18.92)	(18.92	0.00	4.12	6.26	10.38	74.08	4.12	6.26	10.38.	563.57
0.00	(1.88)	(1.88)	382.38	0,00	(1.06)	(1.06)	107.11	0.00	(2.93)	(2.93	489.49	4.45	5.93	10.38	69.63	4.45	5,93	10.38	559.12
9.18	15.30	24.48	373.20	7.05	9.64	16.69	100.06	16.23	24.94	41.17	473.26	4.81	5.57	10.38	64.82	21.04	30.51	51.55	538.08
9.55	14.93	24.48	363.65	7.68	9.01	16.69	92.37	17.23	23.94	41.17	456.02	5.19	5,19	10,38	59.63	22.42	29.13	51.55	515,65
9.93	14.55	24.48	353.72	8.38	8.31	16.69	84.00	18.31	22,86	41,17	437.72	5.61	4,77	10.38	54.02	23.92	27.63	51,55	491,74
10,33	14.15	24.48	343.39	9.13	7.56	16.69	74.87	19.46	21.71	41.17	418.26	6.05	4.33	10.38	47.97	25.51	26.04	51.55	466.23
10.74	13.74	24,48	332.65	9.95	6.74	16.69	64.92	20.69	20,48	41.17	397.57	6.54	3.84	10.38	41.43	27.23	24.32	51.55	439.00
11,17	13.31	24.48	321.48	10.85	5.84	16.69	54.07	22,02	19,15	41.17	375.55	7.06	3.32	10.38	34.37	29.08	22.47	51,55	409.92
11.62	12.86	24.48	309.86	11.82	4.87	16.69	42.25	23.44	17.73	41.17	352.11	7.63	2.75	10.38	26.74	31.07	20.48	51.55	378.85
12.08	12,40	24.48	297.78	12.89	3.80	16.69	29.36	24.97	16.20	41.17	327.14	8.24	2.14	10.38	18.50	33.21	18.34	51.55	345.64
12.57	11.91	24.48	285.21	14.05	2.64	16.69	15.31	26.62	14.55	41,17	300.52	8.90	1.48	10.38	9.60	35.52	16.03	51.55	310.12
13.07	11.41	24.48	272.14	15.31	1.38	16.69	0.00	28.38	12.79	41.17	272.14	9.60	0.78	10.38	0.00	37.98	13.57	51.55	272.14
13.59	10.89	24.48	258.55	0.00	0.00	0.00	0.00	13.59	10.89	24.48	258.55	0.00	0.00	0.00	0.00	13.59	10.89	24.48	258.55
14,13	10.35	24.48	244.42	0.00	0.00	0.00	0.00	14.13	10.35	24.48	244.42	0.00	0.00	0.00	0.00	14,13	10.35	24.48	244.42
14.70	9.78	24.48	229.72	0.00	0.00	0.00	0.00	14.70	9.78	24.48	229.72	0.00	0.00	0.00	0.00	14.70	9.78	24.48	229.72
15.29	9.19	24.48	214.43	0.00	0.00	0.00	0.00	15.29	9.19	24.48	214.43	0.00	0.00	0.00	0,00	15.29	9.19	24,48	214.43
15.90	8.58	24.48	198.53	0.00	0.00	0.00	0.00	15.90	8.58	24.48	198.53	0.00	0.00	0.00	0.00	15.90	8.58	24.48	198.53
16.54	7.94	24,48	181.99	0.00	0.00	0.00	0.00	16.54	7.94	24.48	181.99	0.00	0.00	0.00	0.00	16.54	7.94	24.48	181.99
17.20	7.28	24.48	164.80	0.00	0.00	0.00	0.00	17.20	7.28	24.48	164.80	0.00	0.00	0.00	0.00	17.20	7.28	24.48	164.79
17.89	6.59	24,48	146.91	0.00	0,00	0.00	0,00	17.89	6.59	24.48	146.91	0.00	0.00	0.00	0.00	17.89	6,59	24,48	146.90
18.60	5.88	24.48	128.31	0.00	0.00	0.00	0.00	18,60	5,88	24.48	128.31	0.00	0.00	0.00	0.00	18.60	5.88	24.48	128.30
19.34	5.14	24.48			0.00	0.00	0.00	19.34	5.14	24.48	108.97	0.00	0.00	0.00	0.00	19.34	5.14	24.48	108.96
20.12					0.00	0,00	0.00	20.12		24.48	88,85	0.00	0.00	0.00		20.12	4.36	24.48	88.84
20.12 20.92 21.76	3.56	24.48	67.92	0.00	0.00	0.00	0.00	20.92	3.56	24.48	67.92	0.00	0.00	0.00	0.00	20.92	3.56	24.48	67.92
21.76	2.72	24.48	46.16	0.00	0.00	0,00	0.00	21.76	2.72	24.48	46.16	0.00	0,00	0.00	0.00	21.76	2.72	24.48	46,16
22.63 23.53	1.85	24,48		0.00	0.00	0,00	0.00	22.63	1.85	24.48	23.53	0.00	0.00	0.00	0.00	22 63	1.85	24.48	23.53
23.53	0.95				0.00	0.00	0.00	23.53	0.95	24.48	0.00	0.00	0,00	0.00	0.00	23.53	0.95	24.48	0.00
0.00		0.00		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
0.00	1			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0,00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0,00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
0.00				0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
382.38	229.62	612.00		107.11	59.79	166.90		489.49	289.41	778.90		78,20	46.36	124.56		567.69	335.77	903,46	

(UNIT : x 10^3 L.E.)

		<<	Operating Re	venue >>			<< Operat	ing Expens	es >>					
No. of Year	Fiscal Year	Aval.Energy at Sending End (gwh) (A)	at Consumer	Salable Price (Mills/kwh) (C)	Total (D)=B*C	Depre- ciation	Operating & Maintenance	General Expense	Fuel Cost	Total (E)	Operating Income (F)=0-E	Financial Expenses (Interest) (G)	Net Income (H)≃F-G	Accumulated Net Income
0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 31 32 33 34 34 34 34 34 34 34 34 34 34 34 34	1984 1985 1986 1987 1988 1989 1990 1991 1992 1993 1994 1995 1996 1997 1998 1999 2000 2001 2002 2003 2004 2005 2006 2007 2008 2009 2010 2011 2012 2013 2014 2015 2016 2017 2018	0 0 0 1,740 4,205	0 0 0 1,531 3,700	0.00 0.00 0.00 21.81 23.55	0 0 0 33,391 87,135	0 0 0 7,820 18,900	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 1,070 2,600	0 0 0 0 3,100 7,50	0 0 0 16,210 39,200	0 0 0 17,181 47,935	0 0 0 6,260 5,930 30,510 29,130 27,630 26,040 24,320 22,470 20,480 18,340 16,030 13,570 10,890 10,350 9,780 9,190 8,580 7,940 7,280 6,590 5,80 5,140 4,360 3,560 2,720 1,850 950 0	0 0 0 11,251 17,425 18,805 20,305 21,895 23,615 25,465 27,455 29,595 31,905 34,365 37,045 37,585 38,155 38,745 39,355 40,655 41,345 42,055 42,055 42,055 44,375 42,055 44,375 44,375 46,085 46,985 47,935 47,935 47,935 47,935 47,935 28,080	0 0 0 -6,260 4,991 22,416 41,221 61,526 83,421 107,036 132,501 159,956 189,551 221,456 255,821 292,866 330,451 368,606 407,351 446,706 486,701 527,356 568,701 610,756 653,551 697,126 741,501 786,716 832,801 879,786 927,721 975,656 1,023,591 1,071,526 1,099,606
	TOTAL	126,150	111,000		2,611,386	567,000	306,010	78,000	225,000	1,176,010	1,435,376	335,770	1,099,606	****

Remarks: 1) Operating & Maintenence Cost: 2% of the Construction Cost. (L.E 510.4 x 10^6 x 0.02 = L.E 10.2 x 10^6)

2) Administration Cost (General Expense): 0.5% of the Cosntruction Cost. (L.E 510.4 x 10^6 x 0.005 = L.E 2.60 x 10^6)

3) Fuel Cost: $\frac{2,205 \text{ kcal/kwh}}{6,500 \text{ kcal/kg}}$ x 4.9 L.E/ton x 4,485,120 Mwh = L.E 7.5 x 10^6 4) Depreciation Expenses: $\frac{567.7 \times 10^6}{30}$ = L.E 18.9×10^6

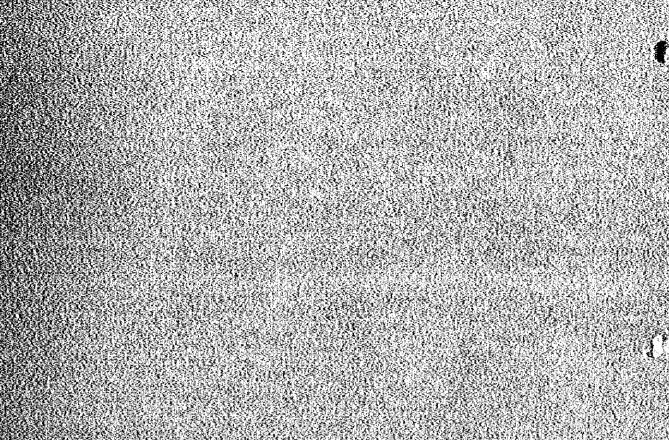
表 9 - 6 咨 金 収 支 表

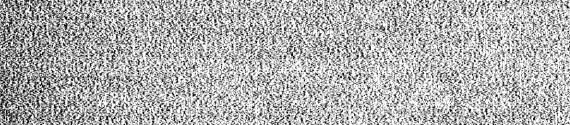
(UNIT : x 10^3 L.E.)

			<< 1NC	OMING CASHFLOW	>>		<< OUT	GOING CASHFLOW >	>	<pre><< CASH BALANCE >> (Benefitable Amount)</pre>		
No. of Year	Fiscal Year	Net Income + Depreciation	Foreign Currency	Local Currency	Total (8)	Grand Total (C)=A+B	Capital Expend. (Constructions)	Repay. of Principal (Incl.Intersest during Const.)	Total	Annual Amount C-D	Accumulated Amount	
		(A)					~,					
0	1984	0	4,000	1,200	5,200	5,200	5,200 62,200	0	5,200 62,200	0		
1	1985	Ů	54,000 121,600	8,200 19,000	62,200 140,600	62,200 140,600	140,600	0	140,600	ŏ	ŏ	
2 3	1986 1987	-6,260	183,900	29,500	213,400	207,140	213,400	4,120	217,520	-10,380	-10,380	
<i>A</i>	1988	19,071	58,700	15,900	74,600	93,671	74,600	4,450	79,050	14,621	4,241	
5	1989	36,325	13,200	1,200	14,400	50,725	14,400	21,040	35,440	15,285	19,526	
6	1990	37,705	0	0	0	37,705	0	22,420	22,420	15,285	34,811	
7	1991	39,205	0	0	0	39,205	0	23,920	23,920	15,285	50,096	
8	1992	40,795	0	• (0)	0	40,795	0	25,510	25,510	15,285	65,381	
9	1993	42,515 44,365 46,355	0	0	0	42,515	. 0	27,230	27,230	15,285	80,666	
10	1994	44,365	0	0	0	44,365	Ų.	29,080	29,080	15,285	95,951	
11	1995	46,355	. 0	0	0	46,355	. 0	31,070 33,210	31,070 33,210	15,285 15,285	111,236 126,521	
12	1996	48,495	U	Ņ	0	48,495	Ů	35,520	35,520	15,285	141,806	
13	1997	50,805	U	9	U O	50,805 53,265	n	37,980	37,980	15,285	157,091	
14 15	1998 1999	53,265 55,945	0	J o	ဂို	55,945	ĺ ň	13,590	13,590	42,355	199,446	
16	2000	56,485	n	Ŏ	้ำ	56,485	Ŏ	14,130	14,130	42,355	241,801	
17	2001	57,055	ŏ	ŏ	ŏ	57,055	0	14,700	14,700	42,355	284,156	
18	2002	57,645	Ŏ	Ŏ	0	57,645	0	15,290	15,290	42,355	326,511	
19	2003	58,255	0	0	0	58,255	0	15,900	15,900	42,355	368,866	
20	2004	58,895	0	0	0	58,895	0	16,540	16,540	42,355	411,221	
21	2005	59,555	0	0	0	59,555	0	17,200	17,200	42,355	453,576	
- 22	2006	60,245 60,955	. 0	. 0	0	60,245	0	17,890	17,890	42,355	495,931	
23	2007	60,955	0	0	0	60,955	Ŭ	18,600	18,600	42,355	538,286 580,641	
24	2008	61,695	0	. 0	0	61,695) U	19,340 20,120	19,340 20,120	42,355 42,355	622,996	
25	2009	62,475	0	Ü	Ü	62,475	U O	20,120	20,120	42,355	665,351	
26	2010	63,275	U	O C	U	63,275 64,115	n	21,760	21,760	42,355	707,706	
27 28	2011 2012	64,115 64,985	0 0	\ \ \ \ \ \ \ \ \	v	64,985	ĺ	22,630	22,630	42,355	750,061	
29	2012	65,885	v n	l vi		65,885	ŏ	23,530	23,530	42,355	792.416	
30	2014	66,835	ŏ	ŏ	Ŏ	66,835	Ō	0	0	66,835	859,251	
31	2015	66.835	Ŏ	ŏ	Ŏ	66,835	0	0	0	66,835	926,086	
31 32	2016	66,835 66,835	0	Ŏ	0	66,835	0	0	0	66,835	992,921	
33 34	2017 2018	66,835 39,160	0	0	0	66,835 39,160	0 0	0 0	0	66,835. 39,160	1,059,756 1,098,916	
	TOTAL	1,666,606	435,400	75,000	510,400	2,177,006	510,400	567,690	1,078,090	1,098,916		

第 10/章

经海分析 (1st Stage 300MW×2.Units)







第10章 経済分析

10-1 分析の方法

シナイ 石炭火力発電計画 の経済性評価は、当該計画の着工時点から発電所の 運転終期に至るまでの総費用の現在価値換算額を、それと同等の用役を提供す る重油火力発電計画の現在価値換算額と比較することによって行う。

即ち、石炭火力の総費用に対する重油火力の総費用(いずれも現在価値換算額)を"便益"と考え、算出される以下の係数を、所謂、社会的割引率と対比することによって石炭火力の経済性を評価する。

便益/費用の比率

上記の比較の中で最も重要なことは、社会的割引率をどう設定するかという ことである。一般に、発電計画等の実施に要する費用の直接的部分は国際金融 機関や国の公共財政の支出に主として依存するものであり、また発現する用役 は公共に帰属するものであるから、経済分析に使用する割引率は社会的観点に 立ったもの、即ち社会的割引率である必要がある。

てのような割引率は、社会全体が示す異時点間における消費の望ましさについての総合的評価 - 社会的時間選好率 - を表わす規範的な関数であって、政府がその公共政策や将米の経済情勢に関する判断等に基づいて決定すべきものとされているが、その的確な計測方法は未だ確立されていない。

エジプトでは、EEAはそのプロジェクトの経済性評価を行うに当って適用 する割引率として、8%を採用している。従って、本プロジェクトにおいても8 %の割引率を適用する。これと共に、感度分析のため10%および12%の割 引率の場合についても分析を行うこととする。

10-2 設定条件

経済分析は、次の条件の下に行う。

1) 工事費、運転維持費、一般管理費、燃料費等は、総ペて工事中心年の価格 とする。

- 2) 費用は、総べて本石炭火力計画の着工年(1984年)の年初に現価換算する。
- 3) 石炭火力、重補火力とともに、耐用年数は30年とする。
- 4) 燃料価格として、以下の2通りの立場を想定する。
 - a 理論的立場(エジプトの長期エネルギー予測を考慮した場合)

石炭: 48.6 LE(US \$ 59) 機会費用としての国際価格

重油 : 148.1 LE (US \$ 180) 国際価格

b 実際的立場(EEAが置かれている現実の財務状況を考慮した立場)

石炭 : 46.5 LE(US\$56.5) 国内炭と輸入炭の合成価格

* 年間の燃料消費量 国内炭 300×10³ ton 輸入炭 1,221×10³ ton

国内炭価格は、Maghara 炭価格(48 LE/ton;試案)と年間の運転経費(40.5 LE/ton;輸送費含む)を平均した値 44 LE/tonを適用した。又、輸入炭は47.1 LE/ton(オーストラリア炭)を利用した。

重油: 7.5 LE(US\$ 9.1) 補助金による国内価格

なお、上記 b) の場合には、重油の代りに石炭を使用することによっても たらされる節約額を シナイ 石炭火力 計画の費用から控除するものとする。 10-3 プロジェクト分析データ

経済分析に用いられる諸元(設備出力、発電量、所内消費率、送電損失率、 火力発電所熱効率等)は表 10 – 1 に示すとおりである。

表 10-1 分析データ

	Oil-fired	Coal-fired	Remarks
A. Installed capacity	y 620 MW	640 MW	
B. Sending end capaci	lty 600 MW	600 MW	
C. Station service lo	oss(kW) 3.5%	6.25%	
D. Utilization factor	80%	#08	
E. Transmission and distribution losse	es 12%	12%	
F. Annual generation at Generator end	A x 8,760 x D/1 4,344,960 MWh	00 4,485,120 MWh	
G. Annual Salable end	ergy F x (1 - C/100) 3,689,740 MWh		
H. Construction cost	466.4 × 10 ⁶ LE	510.4 x 10 ⁶ LE	
 Operation and maintenance cost 	H × 2%	H × 2%	
J. Administration cos	t H x 0.5%	H x 0.5%	
K. Annual Fuel			
consumption L. Fuel price	958.1x10 ³ ton \$180(148.1 LE)/ton	1,521.5x10 ³ ton \$59(48.6 LE)/ton	- Theoretical basis \$9.1
M. Durable years	30 years	30 years	
N. Plant efficiency	39% (2,205 kcal/kwh)	39%(2,205 kcal/kw)	n)
O. Calorific value	10,000 kcal/kg	6,500 kcal/kg	

10-4 費 用 - 理論的立場(国際価格)

10-4-1 建 設 費

建設費は石炭火力、重油火力とも建設期間中の利子を含まない裸建設費と する。

シナイ 火力 510.4 百万LE

代替重舶火力 466.4 百万 LE

上記建設費の年度別内訳は次の通りである。

		02 3	F 度 別	建設費	(単位 百万 LE)	
	Si	nai Power	Oil-fired Plant			
. :	Foreign Currency	Local Currency	<u>Total</u>	Foreign Currency	Local Currency	Total
1984	4.0	1.2	5.2	3.7	1.1	4.8
1985	54.0	8.2	62.2	49.4	7.4	56.8
1986	121.6	19.0	140.6	111.4	17.1	128.5
1987	183.9	29.5	213.4	168.5	26.6	195.1
1988	58.7	15.9	74.6	53.8	14.3	68.1
1989	13.2	1.2	14.4	12.1	1.0	13.1
Total	435.4	75.0	510.4	398.9	67.5	466.4

運転維持費 10 -4-2

運転維持費は石炭火力、重油火力とも直接工事費の2%と見積る。 従って、各発電所等の運転維持費は次の通りとなる。

シナイ石炭火力

510.4 × 0.0 2 = 10.2 百 万 LE

代替重油火力

 $466.4 \times 0.02 = 9.3$ 百万 LE

10-4-3 一般管理費

一般管理費は石炭火力、重油火力とも直接工事費の0.5%と見積る。

シナイ石炭火力。

510.4 × 0.005 = 2.6 百万LE

代替重額火力

 $466.4 \times 0.005 = 2.3$ 百万LE

燃料 10-4-4

発電所の熱効率はいずれも 3 9 % (2,205 Kcal/kWb) とする。

KWh 当たりの燃料費は次の通りとなる。

シナイ石炭火力

 $\frac{2,205}{6500} \times 48.6 \text{ mill./kg} = 16.48 \text{ mill./KWh}$

重拍火力

 $\frac{2.205}{10.000}$ × 148.1 mill. /kg = 32.66 mill. /KWh

従って、年間の燃料費は次の通りである。

シナイ石炭火力

 $4.485.120 \text{ MWh} \times 16.48 \text{ mill.} \text{ /kWh} = 73.9 \text{ TillE}$

重油火力 4,3 4 4,9 6 0 MWh × 3 2.6 6 mill. /KWh = 1 4 1.9百万LE

10--4--5 年経費合計

以上により、各発電所の年経費合計額は次の通りとなる。

シナイ7 炭火力: 10.2 + 2.6 + 73.9 = 86.7 百万LE

重油火力: 9.3 + 2.3 + 1 4 1.9 = 1 5 3.5 百万LE

10-4-6 便益/費用比率

社会的割引率を8%、10%および12%とした場合、便益ノ費用比率は 以下の通りとなる。

1) 建設費の現在価値換算額

建設費の現在価値への換算額は次式によって計算される。

(建設費)
$$\times \frac{1}{(1+i)^n}$$

i : 社会的割引率

n ; 年 数

(单位 百万LE)

	シナイ石炭火力 重 油 火 力					
事別率	8 %	10 %	12 %	8 %	10 %	12 %
1984	5. Ž	5. 2	5. 2	4.8	4.8	4.8
1985	5 7.6	5 6. 5	5 5. 5	5 2. 6	5 1. 6	5 0. 7
1986	1 2 0. 5	1 1 6. 2	1 1 2.1	1 1 0. 2	1 0 6. 2	1 0 2.4
1987	1 6 9. 4	1 6 0. 3	1 5 1.9	1 5 4. 9	1 4 6 6	1 3 8.9
1988	5 4.8	5 1.0	47.4	5 0. 1	4 6. 5	4 3. 3
1989	9.8	8.9	8.2	8.9	8. 1	7.4
合 計	4 1 7. 3	3 9 8. 1	3 8 0. 3	3 8 1. 5	3 6 3.8	3 4 7. 5

2) 年経費の現在価値換算額

期間30年とした場合の現在価値換算額は次式によって計算される。

(年経費)
$$\times \frac{(1+i)^{30}-1}{i\times(1+i)^{30}} \times \frac{1}{(1+i)^5}$$

i:社会的割引率

$$i = 8 \% : \frac{(1+0.08)^{30} - 1}{0.08 \times (1+0.08)^{30}} \times \frac{1}{(1+0.08)^5} = 7.662$$

$$i = 10\% : \frac{(1+0.10)^{30} - 1}{0.10 \times (1+0.10)} \times \frac{1}{(1+0.10)^5} = 5.853$$

$$i = 12\% : \frac{(1+0.12)^{30} - 1}{0.12 \times (1+0.12)^{30}} \times \frac{1}{(1+0.12)^5} = 4.571$$

X

従って、期間 3 0年とした場合の年経費の現在価値換算額は以下の通りとなる。

シナイ石炭火力

86.
$$7 \times 10^{6} \times 7.662 = 664.3 \times 10^{6}$$
 LE($i = 8$ %)
86. $7 \times 10^{6} \times 5.853 = 507.5 \times 10^{6}$ LE($i = 10$ %)

86.
$$7 \times 10^6 \times 4.571 = 396.3 \times 10^6 LE(i=12\%)$$

重抽火力

$$153.5 \times 10^{6} \times 7.662 = 1,176.1 \times 10^{6} \text{ LE (i = 8 \%)}$$
 $153.5 \times 10^{6} \times 5.853 = 898.4 \times 10^{6} \text{ LE (i = 10 \%)}$
 $153.5 \times 10^{6} \times 4.571 = 701.6 \times 10^{6} \text{ LE (i = 12 \%)}$

従って、便益/費用比率は次の通りとなる。

$$\frac{381.5+1.176.1}{417.3+664.3} = 1.440 (i = 8 \%)$$

$$\frac{363.8+898.4}{398.1+507.5} = 1.394 (i = 10\%)$$

$$\frac{347.5+701.6}{380.3+396.3} = 1.351 (i = 12\%)$$

故に、理論的立場をとる場合には、社会的割引率が8%、10%及び12%のいずれの場合でも、便益/費用比率はいずれも1よりはるかに高く、この ことはシナイ石炭火力がフィージブルであることを意味する。 1

10-5 費 用 - 実際的立場

10-5-1 建 設 毀

シナイ石炭火力と代替重補火力のそれぞれの裸建設費は次の通りである。

シナイ石炭火力

5104 百万LE

代替重油火力

466.4 百万LE

上記建設費の年度別内訳は次の通りである。

		10-3 ध	度 別	建 設 贺	(単位	百万 LE)	
	<u>si</u>	nai Power	Plant		Oil-fired Plant		
	Foreign Currency	Local Currency	<u>Total</u>	Foreign Currency	Local Currency	<u>Total</u>	
1984	4.0	1.2	5.2	3.7	1.1	4.8	
1985	54.0	8.2	62.2	49.4	7.4	56.8	
1986	121.6	19.0	140.6	111.4	17.1	128.5	
1987	183.9	29.5	213.4	168.5	26.6	195.1	
1988	58.7	15.9	74.6	53.8	14.3	68.1	
1989	13.2	1.2	14.4	12,1	1.0	13.1	
Total	435.4	75.0	510.4	398.9	67.5	466 A	

10-5-2 運転維持費

運転維持費は石炭火力、重油火力とも直接工事費の2%と見積る。

従って、各発電所等の運転維持費は次の通りとなる。

シナイ石炭火力

10.2百万11

代替重油火力

9.3 百万 L E

10-5-3 一般管理費

一般管理費は石炭火力、重補火力とも直接工事費の0.5%と見積る。

シナイ石炭火力

2.6 百万 L E

代替重油火力。

2.3 百万1 E

10-5-4 燃料費

発電所の熱効率はいずれも39%(2.205Kcal/kWh)とする。

kWh 当りの 燃料費は次の通りとなる。

シナイ石炭火力 $\frac{2,205}{6,500}$ × 46.5 mill./kg = 15.77mill./kWh

重油火力 $\frac{2.205}{10.000} \times 7.5 \text{ mill./kg} = 1.65 \text{ mill./kWh}$

従って、年間の燃料費は次の通りとなる。

シナイ石炭火力

4.485,120MWh × 15.77mill./kWh=70.76JJLE

重 油 火力

4,344,960MWh × 1.65mill./kWh = 7.2百万LE

10-5-5 年間燃料費節約額

石炭価格(国内炭+輸入炭):

4 6.5 LE/ton

重油国際価格

: 148.1 LE/ton

従って、重油の代りに石炭を使用することによる年間の燃料費節約額は次

の通りとなる。

 $(1,521.5 \text{ ton} \times 10^3 \times 46.5) - (958.1 \text{ ton} \times 10^3 \times 148.1) =$

- 71.1 百万LE

10-5-6 年経費合計

以上により、各発電所の年経費合計額は次の通りとなる。

シナイ石炭火力: 10.2 + 2.6 + 70.7 - 71.1 = 12.4 百万LE

重 油 火 力: 9.3+2.3+ 7.2 = 1.8.8 百万LE

10-5-7 便益/費用比率

社会的割引率を8%、10%および12% とした場合、便益/費用比率は 以下の通りとなる。

1) 建設費の現在価値換算額

(単位 百万LE)

	シナイ石炭火力		<u> </u>	重	重 油 火 力		
制率	8%	10%	12%	8 %	10%	1 2%	
1984	5. 2	5. 2	5. 2	4.8	4.8	4.8	
1985	5 7. 6	5 6.5	5 5.5	5 2. 6	5 1 5	5 0.7	
1986	1 2 0.5	1 1 6.2	1 1 2.1	1 1 0.2	1 0 6.2	1 0 2.4	
1987	1 6 9 4	1 6 0.3	151.9	1 5 4.9	1 4 6 6	1389	
1988	5 4.8	5 1.0	4 7.4	5 0.1	4 6.5	4 3.3	
1989	9.8	8.9	8. 2	8.9	8. 1	7.4	
合 計	4 1 7.3	3 9 8.1	3 8 0.3	3 8 1. 5	3 6 3.8	3 4 7.5	

2) 年経費の現在価値換算額

期間30年とした場合の現在価値換算額は次式によって計算される。

(年経費) ×
$$\frac{(1+i)^{30}-1}{i \times (1+i)^{30}}$$
 × $\frac{1}{(1+i)^5}$

i:社会的割引率

$$i = 8\%: \frac{(1+0.08)^{30}-1}{0.08\times(1+0.08)^{30}} \times \frac{1}{(1+0.08)^{5}} = 7.662$$

$$i = 10\%$$
: $\frac{(1+0.10)^{30}-1}{0.10\times(1+0.10)} \times \frac{1}{(1+0.10)^5} = 5.853$

$$i = 12\%$$
: $\frac{(1+0.12)^{30}-1}{0.12\times(1+0.12)^{30}} \times \frac{1}{(1+0.12)^5} = 4.571$

従って、期間30年とした場合の年経費の現在価値換算額は以下の通りとなる。

シナイ石炭火力

$$12.4 \times 10^{5} \times 7,662 = 95.0 \times 10^{6}$$
 (i = 8%)

$$12.4 \times 10^6 \times 5.853 = 72.6 \times 10^6$$
 ($i = 10\%$)

$$12.4 \times 10^6 \times 4,571 = 56.7 \times 10^6$$
 ($i = 12\%$)

重油火力

$$18.8 \times 10^{6} \times 7.662 = 144.0 \times 10^{6}$$
 ($i = 8\%$)

$$18.8 \times 10^{6} \times 5.853 = 110.0 \times 10^{6}$$
 (i = 10%)

$$18.8 \times 10^{6} \times 4.571 = 85.9 \times 10^{6}$$
 ($i = 12\%$)

従って、便益ノ費用比率は以下の通りとなる。

$$\frac{381.5 + 144.0}{417.3 + 95.0} = 1.026 (i = 8\%)$$

1.

色

$$\frac{363.8 + 110.0}{398.1 + 72.6} = 1.007 (i = 10\%)$$

$$\frac{347.5 + 85.9}{380.3 + 56.7} = 0.992 (i = 12\%)$$

故に、実際的立場においては、社会的割引率が8%及び10%の場合には、 便益/費用比率は1よりも大きく、また、社会的割引率が12%の場合でも 便益/費用比率は1に近い(0.992)。

従って、本プロジェクトは実際的立場においてもフィージブルであるといえる。

図 10-1 便益/費用の比率(石油/石炭) Oil/Coal

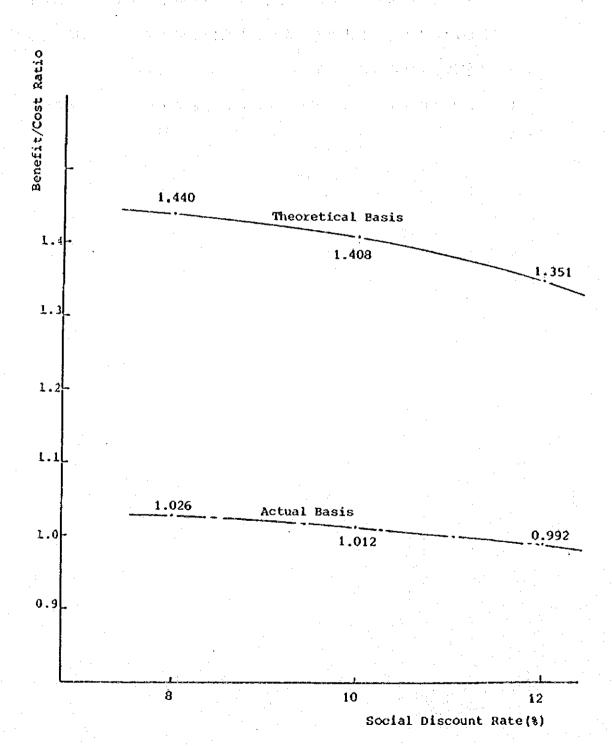
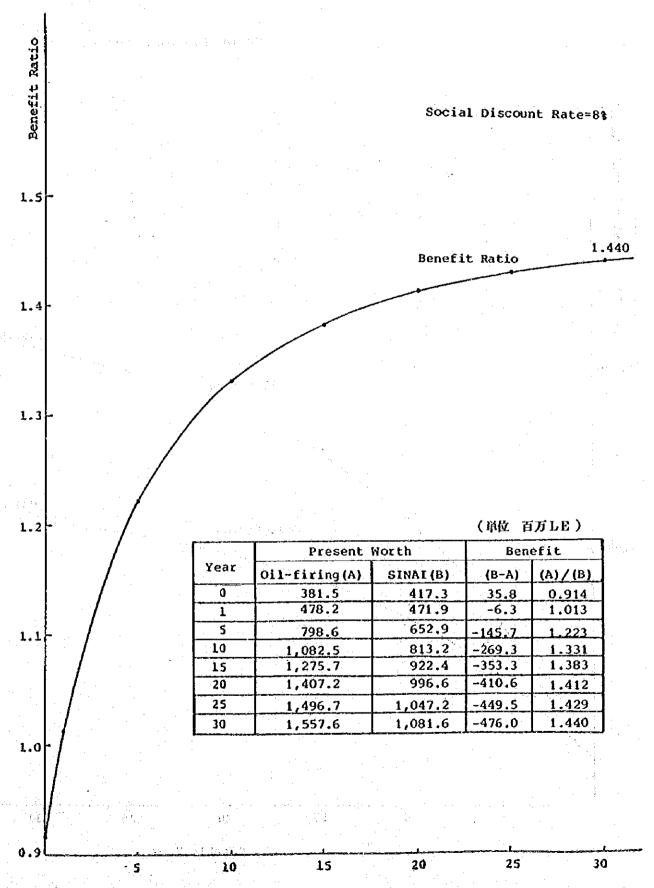


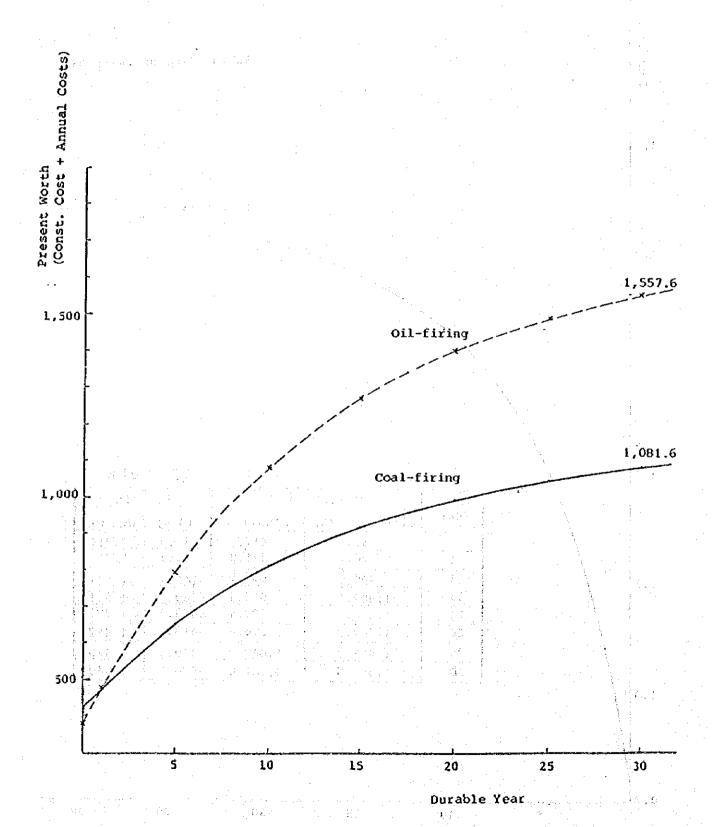
図10-2 利益カーブ(利益率) Oil/Coal



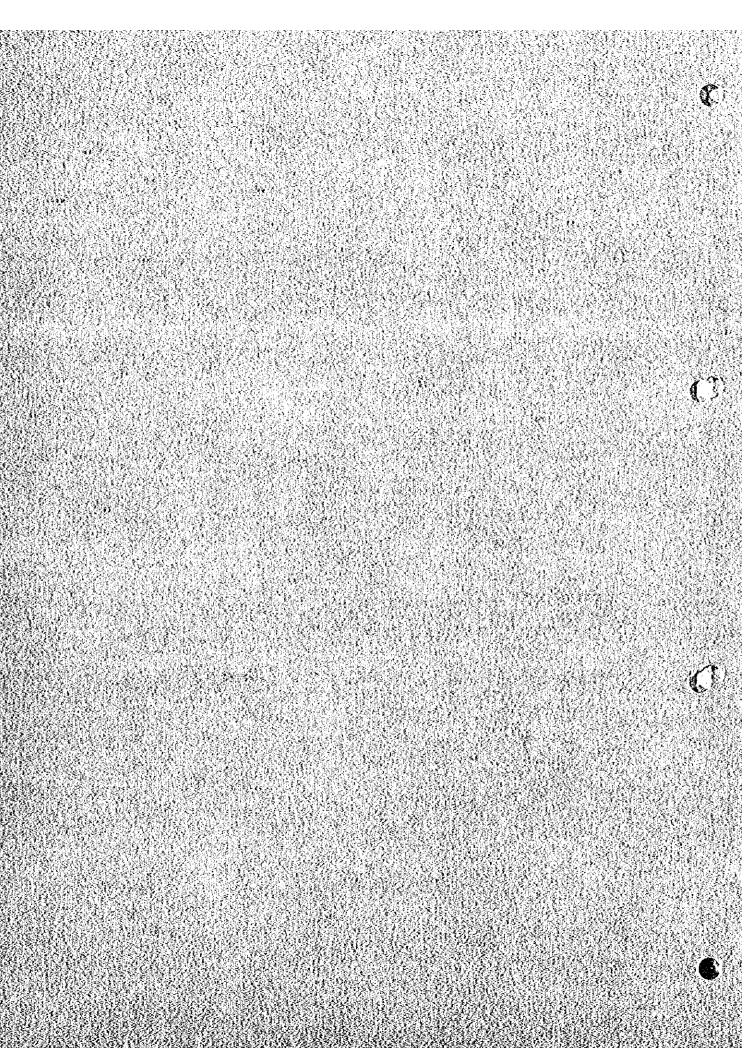
Durable Year

図 10-3 現在価値による年間経費カーブ比較 Coal and Oil

Social Discount Rate=8%



最終出力 1,200 MV になった場合の計画概要



最終出力 1,200 MW になった場合の計画概要

1 計画概要

本プロジェクトは、1988年、1989年に第1段階として シナイ半島の Ayun Musa 地点に 300 MW× 2 Unitを設置するものであるが、それに引き続いて需要の伸びに対処するため、1990年より第2段階として600 MW の発電 設備を増設する計画である。従って、本章では最終出力 1,200 MW になった場合の発電原価およびFIRRの概要検討を行うものとする。

第1段階の設備概要に示しているように、既に冷却水取放水路、燃料荷揚設備等については、第2段階分迄の容量を持っており、第1段階にて先行投資を行っている。

第2段階における発電容量は、第1段階と同じく石炭および重油焚きにより Dual Typeの 300 MW× 2Unitsとした。送電設備は New Suez 変配所の500 kVへの昇圧工事および現在 Abu Sultan 発電所から Suez 変電所までの220 kV送電線を New Suez 変電所へ引込む工事を考えた。なお、 New Suez 変電所からカイロ市東南部 Katamia 変電所まで約108 kmの500 kV×1 cct送電線 は他のプロジェクトにより行われるものとした。

2 龄 储 概 要

第1段階において 1,200 MW 相当の港湾設備、荷揚設備、貯炭場におけるスクッカ、リクレーマ等の設備が設置され、増設の必要はなく貯炭場の拡張のみとなる。また、冷却水取放水設備も第1段階において1部先行工事が終っている冷却水取放水設備等は第2段階において工事する必要はない。 これらの先行投資は第2段階の建設時において、第1段階の既設備300 MW×2 Unitsを停止することなく工事が実施される様に配慮した最小必要限度の設備である。

第2段階における設備仕様は概略第1段階と同じであるが主要な設備は以下 の通りである。

Outline of Power Plant:

Output

: 300 MW x 2 units

Steam conditions:

Main steam pressure: 169 atg

Main steam temp.

538°C

Reheat steam temp.

: 538°C

Condenser vacuum

: 710 mmHg

Boiler

: Dual type boiler

Outdoor type, balanced draft system either natural or forced circulation

N.C.R. 320 MW x 2

(net output 300 MW x 2)

Stack

: Collective stack for 300 MW x 2

steel made

Height: 85 m

Turbine

: Reheat, condensing, tandem compound type

Rated output at generator 320 MW x 2 units (net output at primary S/S 300 MW x 2 units)

Main steam pressure at turbine inlet: 169 kg/cm²

Main steam temp.: 538°C

Rated speed: 3,000 rpm

Generator

: Horizontal-shaft, totally enclosed, hydrogen cooled type Rating: 400 MVA

Power factor: 0.8

Rated voltage: 18.3 kV

No. of phase: 3

Frequency: 50 Hz

Fuel Storage Yard:

for coal

: Storage capacity 300,000 ton, 60
days for 600 MW
50 m x 300 m x 16 m x 4 piles

for oil

: Storage capacity 100,000 k/, 30
days for 600 MW

ø: 52.3 m, height: 15.22 m,

Capacity: 32,000 k/ x 3

Cooling Water System:

Intake pit

Scale of pit : 61.4 m³/sec for 1,200 MW

Capacity of pumping up : 30.7 m3/sec for 600 MW

Circulating water pipe : ϕ_i : 2.0 m/unit x 4

Length: 800 m x 4 lines

Additional Ash Disposal Area for 10 Years of 600 MW

Ash produced per annum : Approx. 320,000 m³/600 MW/annum

Required area of ash pond: 1,616,000 m²/600 MW/10 years

Outline of Transmission System (interconnection line)

Outline of T/L Route : Partial change of T/L for Abu

Sultan P.S. - Suez S.S. to Abu

Sultan P.S. - New Suez S.S.

Length: about 2 km

Voltage & No. of circuits: 220 kV x 2 cct

Conductor : 400 mm² x 2 TACSR

Supporting structures : Overhead line, steel tower for 2 cct

Outline of New Suez Substation

Circuit breaker : 500 kV x 3 units

220 kV x 4 units

Transformer : 500 kV/220 kV transformer

Capacity 750 MVA x 2 units

3 建 設 費

1) 建設費算定の基本的考え方

建設費算定の基本的考え方は、第1段階、第2段階とも同一条件として、 以下の通り概算した。(第7章参照)

2) 建設費算定の範囲及び条件

シナイ石炭火力 1,200MW開発計画のうち、第1段階 300MW×2units の発電所、輸入炭荷揚港、送変電設備及び第2段階 300 MW×2units の発電所増設、既設送変電設備の増強を対象とした。但し、第2段階では第1段階で設置済の共通設備(例えば、港湾設備、サービスビルディング、その他)を除いた。

第2段階の設備の仕様については、概略第1段階と同一として算定した。

第2段階での工事範囲:

土木・港湾

- 港湾設備は第1段階で完了しており、第2段階では含んでいない。
- 取水ポンプ建家、屋外復水器冷却水管、排水管(Box Culvert)、 貯炭場、タンク基礎及び防油堤、灰捨場の増設
- ○そ の 他

建築

- o 発電所 本館 、ボイラ基礎、煙突、給水処理及び海水電解室他付属 建家の増設
- o そ の 他

送変電設備

- O New Suez S/S 750MVA 500 kV/220 kV Tr 2パンク増強
- O Abu Sultan P/S~Suez S/Sの220 kV T/Lを New Suez S/S に引き込む。
- 注) 500 kV T/L 1 回線を New Suez S/S よりCairo 市東南部の
 Katamia S/Sまで(108 km)の建設を別プロジェクトで考慮する必要がある。

発電所設備

- o 原水タンク(2,000 ton×2基) の増設
- 除塵装置、海水電解装置の増設
- o ボイラ・ターピン発電機・主要変圧器 (300MW×2Unit分) の増設
- o 屋外変電所開閉装置增設
- ο 所内電気設備の増設
- 貯炭場散水設備の増設
- 重油タンク(36,000kl×3基)増設
- o 補給水給水処理装置増設(含、純水タンク 500 ton×2基)
- 電気集じん装置、灰捨装置、排水処理装置、A H 及び付属装置、復水冷却管、その他機器、諸装置の増設

(第2段階で考慮してない発電所設備は下記の通りとした。)

- 起動用発電装置
- ο 揚運炭装置の機器類
- ο 重油受入装置
- ο 軽油タンク

3) 建設費算定の条件

建設費算定の条件は第1段階、第2段階とも同じとした。

但し、前にも述べたように、第1段階で実施済の工事及び第1段階、第2 段階共用可能な設備は第2段階では除いた。

なお、建設に必要な事務所、自動車、仮設備等は第1段階と第2段階は別々に計上した。

4) 価格の算定

価格の算定条件は、第1段階、第2段階とも同じとした。但し、第2段階では予備費は、外貨分の2%、内貨分の2%を計上した。

5) 建設費の算定

- 1)~4)項で述べた条件に基づき算定した建設費を 表 A-1に示す。 第2段階の建設費は、345.7×10°L.E.となり、第1段階と第2段階の総 建設費合計は856.1×10°L.E.各段階の建設費と年度毎の支出予定を各々 表 A-2、A-3に示す。
- 注) 第2段階の資金が、第1段階に引き続き順調に調達され、又施工業者 の選定も第1段階と同一とした場合、仮設備の流用・設計費の低減・工 期の短縮等が期待出来、上記建設費よりも安くなることが予想される。

表 A-1 建 設 費

Unit: x 10⁶ LE (x 10⁶ US\$)

	1st Stage			2nd Stage			<u>Total</u>		
Items	F.C.	L.C.	<u>Total</u>	F.C.	L.C.	<u>Total</u>	F.C.	L.C.	Total
1. Generating Facilities 1) Equipments 2) Erection 3) Civil works 4) Architectural works 5) Harbor facilities Sub-total Unit construction cost [LE/kW (US\$/kW)]	262.0 (318.3) 42.2 (51.3) 10.4 (12.6) 34.0 (41.3) 28.3 (34.4) 376.9 (457.9)	19.6 (23.8) 18.3 (22.2) 16.1 (19.6) 7.6 (9.2) 61.6 (74.8)	262.0 (318.3) 61.8 (75.1) 28.7 (34.8) 50.1 (60.9) 35.9 (43.6) 438.5 (532.7) 730.8 (887.8)	220.0 (267.3) 34.3 (41.7) 5.4 (6.5) 24.4 (29.7) 0 (0) 284.1 (345.2)	16.0 (19.4) 9.4 (11.4) 11.5 (14.0) 0 (0) 36.9 (44.8)	220.0 (267.3) 50.3 (61.1) 14.8 (17.9) 35.9 (43.7) 0 (0) 321.0 (390.0) 535.0 (650.0)	482.0 (585.6) 76.5 (93.0) 15.8 (19.1) 58.4 (71.0) 28.3 (34.4) 661.0 (803.1)	35.6 (43.2) 27.7 (33.6) 27.6 (33.6) 7.6 (9.2) 98.5 (119.6)	482.0 (585.6) 112.1 (136.2) 43.5 (52.7) 86.0 (104.6) 35.9 (43.6) 759.5 (922.7) 632.9 (768.9)
2. Transmission Lines and Substat 1) Transmission Lines Unit construction cost (× 10 ³ x 10 ³ (LE/km (US\$/km)) 2) Substation	ion 25.6 (31.1) 10.8 (13.1)	7.5 (9.1) 2.3 (2.8)	33.1 (40.2) 760.9 (924.1) 13.1 (15.9)	1.0 (1.2)	0.3 (0.4) 2.9 (3.5)	1.3 (1.6) 650.0 (800.0) 13.0 (15.8)	26.6 (32.3)	'7.8 (9.5) 5.2 (6.3)	34.4 (41.8) 756.0 (918.7) 26.1 (31.7)
Sub-total 3. Engineering Fee Total (1 + 2 + 3)	36.4 (44.2) 5.4 (6.6) 418.7 (508.7)	9.8 (11.9) 71.4 (86.7)	46.2 (56.1) 5.4 (6.6) 490.1 (595.4)	11.1 (13.5) 3.6 (4.4) 298.8 (363.1)	3.2 (3.9) 40.1 (48.7)	3.6 (4.4) 338.9 (411.8)	47.5 (57.7) 9.0 (11.0) 717.5 (871.8)	13.0 (15.8)	60.5 (73.5) 9.0 (11.0) 829.0(1,007.2)
4. Contingency Grand Total (1 + 2 + 3 + 4)	16.7 (20.3) 435.4 (529.0)	3.6 (4.4) 75.0 (91.1)	20.3 (24.7) 510.4 (620.1)	6.0 (7.3) 304.8 (370.4)	0.8 (1.0) 40.9 (49.7)	6.8 (8.3) 345.7 (420.1)	22.7 (27.6) 740.2 (899.4)	4.4 (5.4) 115.9 (140.8)	27.1 (33.0) 856.1(1,040.2)

表 A-2 年 度 別 予 算

Unit: x 10⁶ LE (x 10⁶ US\$)

1st Stage		2nd Stage			<u>Total</u>				
	F.C.	L.C.	Total	F.C.	L.C.	Total	F.C.	L.C.	<u>Total</u>
1984	4.0 (4.9)	1.2 (1.5)	5.2 (6.4)	<u>-</u>	-		4.0 (4.9)	1.2 (1.5)	5.2 (6.4)
1985	54.8 (65.6)	8.2 (10.0)	62.2 (75.6)	1 <u>4</u>	<u>-</u>	-	54.0 (65.6)	8.2 (10.0)	62.2 (75.6)
1986	121.6 (147.8)	19.0 (23.0)	140.6 (170.8)	38.1 (46.3)	4.5 (5.5)	42.6 (51.8)	159.7 (194.1)	23.5 (28.5)	183.2 (222.6)
1987	183.9 (223.4)	29.5 (35.8)	213.4 (259.2)	86.0 (104.4)	10.5 (12.8)	96.5 (117.2)	269.9 (327.8)	40.0 (48.6)	309.9 (376.4)
1988	58.7 (71.3)	15.9 (19.4)	74.6 (90.7)	129.8 (157.8)	16.4 (19.9)	146.2 (177.7)	188.5 (229.1)	32.3 (39.3)	220.8 (268.4)
1989	13.2 (16.0)	1.2 (1.4)	14.4 (17.4)	41.5 (50.4)	8.9 (10.8)	50.4 (61.2)	54.7 (66.4)	10.1 (12.2)	64.8 (78.6)
1990	<u></u>	.	•••	9.4 (11.5)	0.6 (0.7)	10.0 (12.2)	9.4 (11.5)	0.6 (0.7)	10.1 (12.2)
Total	435.4 (529.0)	75.0 (91.1)	510.4 (620.1)	304.8 (370.4)	40.9 (49.7)	345.7 (420.1)	740.2 (899.4)	115.9 (140.8)	856.1(1,040.2)

表 A-3 段 階 別 予 算

Unit: x 10⁶ LE (x 10⁶ US\$)

Items	<u>F</u>	.c.	Ţ	.c.	To	tal
1st Stage				: .		
1st Phase	63.4	(77.0)	24.1	(29.3)	87.5	(106.3)
2nd Phase	207.5	(252.1)	32.6	(39.6)	240.1	(291.7)
3rd Phase	164.5	(199.9)	18.3	(22.2)	182.8	(222.1)
Total	435.4	(529.0)	75.0	(91.1)	510.4	(620.1)
2nd Stage					•	
1st Phase	195.1	(237.1)	26.2	(31.8)	221.3	(268.9)
2nd Phase	109.7	(133.3)	14.7	(17.9)	124.4	(151.2)
Total	304.8	(370.4)	40.9	(49.7)	345.7	(420.1)
Grand Total	740.2	(899.4)	115.9	(140.8)	856.1	(1,040.2)

表 A-4 1200 MW 発 電 設 備 発 電 原 個 諸 元

	Item	Unit	Formula	1st Stage	1st Stage plus
			Tornara	130 Btage	2nd Stage
A.	Unit Capacity	MM		320 x 2	320 x 4
В	Utilization Factor	8		80	80
c.	Annual Gross kWh	x10 ⁶ kWh	Ax8.760xB/100	4,485.1	8,970.2
D.	Station Service Loss(kWh) %		6.25	6.25
E.	Annual Available Ener at P/S Tr. End	9y ×10 ⁶ kwh	Cx (1-D/100)	4,204.8	8,409.6
F.	Plant Efficiency	%		39	39
G.	Construction Cost including T/L	×10 ⁶ LE	•	510.4	856.1
н.	Fuel Calorific Value	kcal/kg		6,500	6,500
I.	Fuel Consumption	$\times 10^3$ ton	$\frac{860 \times C}{F \times H} \times 100$	1,521.5	3,043.0
J.	Unit Price of Fuel	LE/ton		4.9	4.9
Κ.	Fuel Cost	×10 ⁶ LE	1xJx10 ⁻³	7.5	15.0
ь.	Operation Maintenance Cost	×10 ⁶ LE	Gx0.02	10.2	17.1
М.	Administration Cost	×10 ⁶ LE	Gx0.005	2.6	4.3
н.	Depreciation	х10 ⁶ LE	G/30	17.0	28.5
0.	Annual Cost	×10 ⁶ LE	K+L+M+N	37.3	64.9
₽.	Generating Cost at P/S Tr. End	Millimes/kWh	0/Ex10 ³	8.87	7.72
Q.	T/L and D/L Loss	8		12	12
R.	Salable Energy at Consumer End	×10 ⁶ kwh	Ex(1-Q/100)	3,700.2	7,400.4
s.	Salable Unit Price	Millimes/kWh	33.646x0.7	23.55	23.55
T.	Revenue/kWh	Millimes/kWh	S-P	14.68	15.83
u.	Annual Revenue	×10 ⁶ LE	RxTx10 ⁻³	54.3	117.1

4 発電原価およびFIRR

4-1 発電原価

最終出力 1,200 MW になった場合の発電原価は Table A-4 に示す適りであり、発電所主変圧器端で 7.72 mill/kWh となり、第 1 段階のみで見た場合の 8.87 mill/kWhよりかなり良くなる。

すなわち、第2段階においては港湾設備、揚運炭機器の共用分や取放水設備等を第1段階において先行工事を行っているということ等から発電原価は安くなると言える。

第1段階で行う本プロジェクトは、第2段階までを行うことによって更に 経済的効果を高めることが出来る。

4-2 財務分析

1) 分析方法、前提条件(電力料金、物価上昇、石炭価格、電力収入の発電 部門への配分率、建設費調達条件等)は第1段階、第2段階とも同じとした。

2) 営業収益(売電収益)

第1段階は、1st Unit が1988年、2nd Unit が1989年に運開する予定であるが、第2段階では3rd Unit を1990年、4th Unit を1991年に運開することで考えた。

売電収益の 合計は 第1段階のみの場合の2倍となる。

3) 運転経費については下記の通り仮定した。

a) 運転維持費 : L.E. (5104+345.7)×10⁶×0.02=L.E.17.1×10⁶

b) 一般管理費 : L.E. (5104+345.7)×10⁶×0.005=L.E. 4.3×10⁶

c) 燃料 費: 2,205kcal/kWh 6,500kcal/kg×4.91.E/ton×4,485、120kWh×2

= 15.0百万 L.E. (1.67 mill / kWh)

d) 減価資却 : $\frac{(5104+345.7)\times10^6}{30}$ = L.E. 285×10⁶

(耐用年数 30年)

4) 分析結果

表 11-5 に示すように、等価割引率(FIRR)は13.71%と算出される。

この数値は、第1段階のみの値11.29%に比較してはるかに良く、この ことは第1段階に引続き、第2段階の建設が円滑に実施されるならば、財 務的に見て相当 フィージブルなプロジェクトとなり得ることを意味する。

. Revenue/cost

e

12%

0.9763

1.0557 0.9

Revenue/cost = 1.00; Discount Rate = 13.71%

11%

(EDR =13.71 (%))

(UNIT : x 10^3 L.E)

		<u> </u>		_				<< PRESENT	r worth >>		
No.	Fiscal Year	Project Cost	Operating Expenses Total	Operating Revenue	Balance	Disc.Rate	Va	ilue	Disc.Rate	Va	ilue
Year	real .	(A)	(Excl.Depre.Cost) (B)	(C)	(D)=C-(A+8)	13.0(%) (E)	Investment (F)=A*E	Benefit (G)=(C-B)×E	14.0(%) (E)	Investment (F)'=A*E'	8enefit (G)=(C-B)*E′
0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 27 28 29 30 31 32 33 34 34 36 36 36 37 38 37 38 37 38 38 38 38 38 38 38 38 38 38 38 38 38	1984 1985 1986 1987 1988 1989 1990 1991 1992 1993 1994 1995 1996 1997 1998 1999 2000 2001 2002 2003 2004 2005 2006 2007 2008 2009 2010 2011 2012 2013 2014 2015 2016 2017 2018	5,200 62,200 183,200 309,900 220,800 64,800 10,000 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 8,390 26,815 36,400	0 0 0 33,391 123,190 174,270	-5,200 -62,200 -183,200 -309,900 -195,799 -31,575 127,870 137,870	1.000000 0.884956 0.783147 0.693051 0.613319 0.542760 0.480319 0.425061 0.376160 0.332885 0.294589 0.260698 0.230706 0.204165 0.180677 0.159891 0.141497 0.125218 0.110813 0.098064 0.086783 0.076799 0.067964 0.060145 0.053225 0.047102 0.041683 0.032644 0.028889 0.025565 0.022624 0.020021 0.017718 0.015680	5,200 55,044 143,473 214,776 135,421 35,171 4,803 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 15,334 52,309 66,222 58,603 51,861 45,895 40,615 35,942 31,807 28,148 24,910 22,044 19,508 17,264 15,278 13,520 11,965 10,588 9,370 8,292 7,338 6,494 5,747 5,086 4,501 3,983 3,525 3,119 2,760 2,443 1,895	1.000000 0.877193 0.769468 0.674972 0.592081 0.519369 0.455587 0.399638 0.350560 0.307508 0.269744 0.236618 0.207560 0.182070 0.159710 0.140097 0.122892 0.107800 0.094561 0.082949 0.072762 0.063826 0.055988 0.049112 0.043081 0.037790 0.033149 0.029078 0.025507 0.022375 0.017217 0.015102 0.013248 0.011621	5,200 54,561 140,966 209,174 130,731 33,655 4,556 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 14,803 50,054 62,812 55,098 48,332 42,396 37,190 32,622 28,616 25,102 22,019 19,315 16,943 14,862 13,037 11,436 10,032 8,800 7,719 6,771 5,940 5,210 4,570 4,009 3,517 3,085 2,706 2,374 2,082 1,826 1,405 424
35	2019	0 	9,465	51,080	41,615	0.013876		577	0.010194	578,844	565,108
T	OTAL	856,100	1,081,200	5,225,436	3,288,136	~	593,888	626,944			
							33,0)56		-13,	736

表 A-5 等 碼 割 引 率 (FIRR)